

【開成中 国語】

開成中の国語出題は、文章読解の大問が、1題の年と2題の年があり、2019年は2題出題の年でした。解答欄はマス目のない1~2行の短いものが定着しました。これは最重要ポイントを絞り込み、核心部分のみを端的に表現しきる力が求められていることの表れです。また、出題文の内容は、家族・友人間の心理的葛藤、脱近代価値の探求、正義感、弱者への愛着、自然への畏敬…と多岐にわたり、それをもとに問われる心情・要点は、単純化された一般論では割り切れない、緻密で高度なものです。

今年の物語文は、少女（茜）の心情の変化、論説文はエチオピアでの経験をもとにした比較文化論を読み取る問題でした。

ここ数年の何度の高い文章問題に比べると、開成受験生にとっては比較的取り組みやすい問題だったのではないかと思います。それだけに、確実な記述を求められたとも言えます。